【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公開番号】特開2007-275387(P2007-275387A)
【公開日】平成19年10月25日(2007.10.25)
【年通号数】公開・登録公報2007-041
【出願番号】特願2006-107164(P2006-107164)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月30日(2009.3.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも特定方向に向けて光を照射可能な光源と、
前記光源の光の照射側に設けられ、透明又は半透明の素材で構成された透明体とを具備し、
前記透明体は、
前記特定方向側の面に、前記特定方向に向けて拡径する先端面側凹部が形成された基部と、
前記基部に一体形成され、前記基部の外周縁部から前記特定方向側に向けて突出する複数の突起部とを備え、
前記透明体を、前記光源の中心軸の延長線上に前記先端面側凹部の中心軸が延在するよう配置して、
前記光源から発せられた光を前記透明体内部に入射させるとともに、当該透明体内部に入射した光のうち、前記先端面側凹部を構成する面に当たった光を、前記先端面側凹部の外周方向に向けて反射させる構成とし、
前記光源から発せられ、前記透明体内部に入射した光のうち、少なくとも前記先端面側凹部を構成する面に反射された光を反射可能な位置に、当該光を前記突起部の先端部に向けて反射する案内面を形成したことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記先端面側凹部は、前記各突起部に向けて傾斜する複数の傾斜平面により形成されていることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記基部は、前記先端面側凹部を形成する前記各傾斜平面から、当該各傾斜平面に対応する前記突起部の基端部に形成された前記案内面にかけて延びる根部と、隣接する前記根部同士の間から前記光源側に向かって突出し、前記透明体を被取付部に係止するための係止部とを一体的に備えることを特徴とする請求項２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記透明体は、前記先端面側凹部の中心軸を軸心として回転可能に設けられていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の遊技機。